



社訓*誠意 ~ 社長室だより ~



☆2020年11月末号☆

あれよあれよと瞬く間に12月を迎え2020年を終わろうとしている。今年の初めは期待と夢をたくさん描いていた。黒字決算で決算賞与(寸志だが)支給・新規事業のための車両購入・人生2度目のオリンピック自国開催での休みを利用して会場ボランティア・次男の結婚披露宴・久々のプライベート海外旅行・友人達の集 etc それぞれが1月は「コロナって何?」3月「えっ、仕事が無くなる?」5月「スティホームで仕事に明暗」8月「更に仕事が無くなる」11月「新しい仕事を続けられず」12月「さあ どうなるコロナ禍 第3浪」私が毎日記している業務日誌には今年も多くの事故。(それでも2019年度よりは減ったが)高額な修理代そして現在もアタリ屋ではないか?交通裁判か?となりそうな事故も未解決のままで年を越しそうだ。今年の初め1月17日には本社の従業員が出勤途上での事故。度重なる手術で歩行も困難の彼は自宅療養中。未だ専属の仕事を持っていない人とトラックを見ると落ち込む。思いつく人に声をかけ仕事の依頼をしたりウェブサイトで求車情報を見るが中々マッチングする仕事が見つからない。拝み倒して受けた仕事は乗務員が続かないで又頭を下げて別の仕事を見つけたり、心休まる事が無いのは私の仕事だから仕方がないのだがこう言う時によく使われる慰めの言葉は「神様は乗り越えられない試練を与えない」だが、私はそれを耳にすると「私をかいがぶらなくていいからもっと優しくして!!」と叫びたくなる。しかし先日ラジオでこの言葉を聞いた子供の回答に思わず苦笑した。子供Aは「だったら壁をぶち破れば!!」子供Bは「登れないなら下に穴掘ってくればいいじゃん」皆さん素晴らしい発想だと思いませんか?私は本当に感動。目からウロコ状態。いきづまったら発想を変える。正面ばかり見ないで状態をあらゆる角度から見直し、色々な人の意見に素直に耳を傾けてあらゆる可能性を試してみる事だと。これは日常の皆さんの仕事でも、私的な事にも通用する事だと思うんです。「こんな仕事!」とか「できない」じゃなくて「こうすれば楽かな」とか「やるにはどうすればできるようになるか」とか。ね、ネ、一緒に全てを前向きに、顔を上に向け、笑ってやり過ぎましょう!!この悶々とした2020年を12月で晴らしておしまいにしてさ。実は2021年は私六白金星で八方ふさがりの星回りだけど、寒川神社と深川不動でお清めをして万全をきして臨みますから。安心してついてくるよう。

又、皆さんの意識の高さで現在当社はコロナ感染者ゼロをkeepしています。本当にありがとうございます。豊洲では大規模なクラスター感染者が出ています。東急のセンター、ライフのセンターでも感染が報告されています。各所納品に関わっている人は本当に気が気では無いですよ。私は夏の夜中に豊洲市場に行った時一人もマスクをしている荷受けがいなくて恐ろしくなりました。結果は案の定です。夏より空気が乾燥している分ウイルス(被膜)が前方に大きく広がりやすくなってきます。できればフェイスシールドとマスクの両方をするのが良いのですが、とにかくマスクだけは一人になるとき以外は外さないでください。マスクを外すときはゴムの部分を持って絶対に表面を触らずに。エアコンで外気注入、高速走行中は少し窓を開けて空気の入換。マスクをフックにかけて消毒スプレーするのもお勧め。マスクの予備は常に車の中に。捨てる時はビニール袋に入れて処分しましょう。私は手がアルコール消毒で切れまくってしまいました。皆さんは如何ですか?医療量の手袋をして作業用のゴム手をした方が良いかもね。感染予防、良いアイデアは共有して、コロナに負けずに恒例の年末年始、繁忙期を無事故で乗り切りましょうね!!(去年は横低センター内において2週間で4件バック時の接触事故を起こしてますからね!!) たのみますよ安全確認!



12月にお誕生日を迎える方



12月7日 本社 前田 憲一 ライフ・KPC 専属 8日 本社 玉村 由香 HP 編集担当
ダブルハッピーな12月をお過ごし下さい!